

## 2 財 務 諸 表

(1) 平成22年度公立岩瀬病院企業団病院事業損益計算書  
(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位 円)

1	医業収益			
	(1) 入院収益	2,602,282,336		
	(2) 外来収益	858,279,841		
	(3) その他医業収益	<u>407,285,926</u>	3,867,848,103	
2	医業費用			
	(1) 給与費	2,291,880,672		
	(2) 材料費	696,970,054		
	(3) 経費	608,893,116		
	(4) 減価償却費	145,710,425		
	(5) 資産減耗費	8,602,700		
	(6) 研究研修費	<u>9,821,357</u>	<u>3,761,878,324</u>	
	医業利益			105,969,779
3	医業外収益			
	(1) 受取利息・配当金	504,711		
	(2) 他会計繰入金	19,183,000		
	(3) 他会計負担金	79,445,000		
	(4) 補助金	11,700,319		
	(5) 訪問看護収益	17,664,359		
	(6) その他医業外収益	35,764,418		
	(7) 感染症病床収益	0		
	(8) 地域包括支援センター収益	28,085,880		
	(9) 指定居宅介護支援事業収益	<u>4,659,500</u>	197,007,187	
4	医業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	13,159,241		
	(2) 繰延勘定償却	3,129,000		
	(3) 雑損失	54,572,677		
	(4) 感染症病床費	181,458		
	(5) 病院企業団費	1,403,881		
	(6) 高等看護学院費	88,046,872		
	(7) 訪問看護費	30,234,013		
	(8) 地域包括支援センター費	23,621,276		
	(9) 指定居宅介護支援事業費	<u>8,682,278</u>	<u>223,030,696</u>	<u>△ 26,023,509</u>
	経常利益			79,946,270
5	特別利益			
	(1) 固定資産売却益	0		
	(2) 過年度損益修正益	0		
	(3) その他特別利益	<u>0</u>	0	0
6	特別損失			
	(1) 固定資産売却損	0		
	(2) 臨時損失	0		
	(3) 過年度損益修正損	0		
	(4) その他特別損失	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
	当年度純利益			<u>79,946,270</u>
	前年度繰越欠損金			<u>△ 1,466,242,113</u>
	当年度未処理欠損金			<u>△ 1,386,295,843</u>

(2) 平成22年度公立岩瀬病院企業団病院事業剰余金計算書  
 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位 円)

		<u>利 益 剰 余 金 の 部</u>	
1	欠 損 金		
(1)	前年度未処理欠損金		△ 1,466,242,113
(2)	前年度欠損金処理額		<u>0</u>
	繰越欠損金年度末残高		△ 1,466,242,113
(3)	当年度純利益		<u>79,946,270</u>
	当年度未処理欠損金		<u>△ 1,386,295,843</u>
		<u>資 本 剰 余 金 の 部</u>	
1	受贈財産評価額		
(1)	前年度末残高	19,340,377	
(2)	前年度処分額	0	
(3)	当年度発生高	0	
(4)	当年度処分額	<u>0</u>	
(5)	当年度末残高		19,340,377
2	補助金		
(1)	前年度末残高	127,263,190	
(2)	前年度処分額	0	
(3)	当年度発生高	0	
(4)	当年度処分額	<u>0</u>	
(5)	当年度末残高		127,263,190
3	寄付金		
(1)	前年度末残高	1,010,000	
(2)	前年度処分額	0	
(3)	当年度発生高	0	
(4)	当年度処分額	<u>0</u>	
(5)	当年度末残高		<u>1,010,000</u>
	翌年度繰越資本剰余金		<u>147,613,567</u>

(3) 平成22年度公立岩瀬病院企業団病院事業欠損金処理計算書(案)

(単位 円)

1	当年度未処理欠損金		△ 1,386,295,843
2	欠損金処理額	<u>0</u>	<u>0</u>
3	翌年度繰越欠損金		<u>△ 1,386,295,843</u>

(4) 平成22年度公立岩瀬病院企業団病院事業貸借対照表  
(平成23年3月31日)

(単位 円)

		資 産 の 部	
1	固定資産		
(1)	有形固定資産		
	イ 土地		17,942,713
	ロ 建物	4,792,169,487	
	建物減価償却累計額	<u>△ 412,647,942</u>	4,379,521,545
	ハ 建物附属設備	980,029,427	
	建物附属設備減価償却累計額	<u>△ 699,387,564</u>	280,641,863
	ニ 構築物	89,230,990	
	構築物減価償却累計額	<u>△ 44,030,985</u>	45,200,005
	ホ 器械備品	2,606,961,278	
	器械備品減価償却累計額	<u>△ 1,627,293,055</u>	979,668,223
	ヘ 車両	20,239,590	
	車両減価償却累計額	<u>△ 18,594,978</u>	1,644,612
	ト その他有形固定資産	27,576,000	
	その他有形固定資産減価償却累計額	<u>△ 18,998,200</u>	8,577,800
	チ 建設仮勘定		0
	有形固定資産合計		5,713,196,761
(2)	無形固定資産		
	イ 電話加入権		1,451,500
	無形固定資産合計		1,451,500
(3)	投資		
	イ 投資有価証券		0
	投資合計		0
	固定資産合計		5,714,648,261
2	流動資産		
(1)	現金預金		
	イ 現金		300,000
	ロ 預金	756,318,166	756,618,166
(2)	未収金		
	イ 医業未収金	363,883,188	
	ロ 医業外未収金	11,920,225	
	ハ その他未収金	0	375,803,413
(3)	貯蔵品		
	イ 薬品	12,355,727	
	ロ 診療材料	67,673	
	ハ 給食材料	715,147	
	ニ 燃料	0	
	ホ その他貯蔵品	36,988	13,175,535
(4)	その他流動資産		
	イ 保管有価証券	0	
	ロ その他流動資産	26,474,704	26,474,704
	流動資産合計		1,172,071,818
3	繰延勘定		
(1)	控除対象外消費税額		209,164,730
	繰延勘定合計		209,164,730
	資産合計		<u>7,095,884,809</u>

		<u>負債の部</u>		(単位 円)
4	流動負債			
(1)	未払金			
	イ 医業未払金	70,286,627		
	ロ 医業外未払金	4,943,704		
	ハ その他未払金	<u>0</u>	75,230,331	
(2)	一時借入金			
	イ 一時借入金	<u>0</u>	0	
(3)	その他流動負債			
	イ 預り金	19,556,303		
	ロ 預り有価証券	<u>0</u>	<u>19,556,303</u>	
	流動負債合計			<u>94,786,634</u>
	負債合計			<u>94,786,634</u>
		<u>資本の部</u>		
5	資本金			
(1)	自己資本金			
	イ 引継資本金	79,572,343		
	ロ 繰入資本金	<u>4,248,649,487</u>	4,328,221,830	
(2)	借入資本金			
	イ 企業債	3,911,558,621		
	ロ 他会計借入金	<u>0</u>	<u>3,911,558,621</u>	
	借入資本金合計			8,239,780,451
	資本金合計			
6	剰余金			
(1)	資本剰余金			
	イ 受贈財産評価額	19,340,377		
	ロ 補助金	127,263,190		
	ハ 寄付金	<u>1,010,000</u>	147,613,567	
	資本剰余金合計			
(2)	欠損金			
	イ 当年度未処理欠損金	△ 1,386,295,843		
	欠損金合計		<u>△ 1,386,295,843</u>	
	剰余金合計			<u>△ 1,238,682,276</u>
	資本合計			<u>7,001,098,175</u>
	負債資本合計			<u>7,095,884,809</u>

# 事業報告書

# 平成22年度公立岩瀬病院企業団病院事業報告書

## 1 概況

### (1) 総括事項

#### ア 一般概況

##### (ア) 一般情勢について

近年、医療に対する要求はますます高度化・多様化し、これまで国が推進してきた診療報酬体系や医療保険制度の改革などの医療費抑制政策、さらには全国的な医師不足などの影響により、地域医療を取り巻く環境は依然として厳しい情勢にある。

平成22年度診療報酬改定は、救急、産科、小児、外科等の医療の再建や病院勤務医の負担軽減を掲げ、10年ぶりに医療費全体で0.19%のプラス改定されたところである。

このような状況のなかで、当病院は、須賀川、岩瀬、石川地方の地域医療に必要不可欠な拠点病院として、適切な医療サービスを提供し地域住民の信頼に添えていくため、平成21年3月に策定した「公立岩瀬病院改革プラン」に基づき、また病院運営及び医療に関する助言を得るため引きつづき、特別顧問(福島県立医科大学理事長兼学長)を招へいしながら、各種経営改革・改善を実施してきたところである。

本年度において実施した主な改革・改善実績は次のとおりである。

- ① 4月から整形外科医が1名、内科医が1名、婦人科医が1名、研修医が1名が着任。一方で年度内に、皮膚科医が1名、総合診療科が1名退職したが、年度末比較では対前年度比で計2名の医師が増員となっている。
- ② 病院組織体制は、副院長を医師2名体制から新たに看護部から1名を加え副院長3名体制としたほか、事務長職についても公募採用するなど体制の強化を図った。
- ③ 地域医療連携の強化として、須賀川病院、池田記念病院との間に連携証を取り交わし、それぞれの病院の専門性を発揮しながら地域医療の一層の充実を図ることとした。
- ④ 前年度に引き続き新病棟改築事業を推進し、12月24日には竣工、その後3月14日までに新たな病棟の運用を開始した。

また、地域的な取り組みとして広域的な地域医療課題解決のため、10月6日に須賀川地域医療協議会が開催され、これまでの協議会を拡大した須賀川、岩瀬及び石川地方地域医療懇談会が設置された。当院もメンバーの一員として、地域医療の諸課題に積極的に対応していくこととした。

##### (イ) 東日本大震災の影響について

3月11日発生した東日本大震災により、本館病棟が被害を受けたことから患者の安全確保のため、3月12日に予定した引越しに先立ち、急遽入院患者を新病棟へ移送した。

被害状況は、本館全ての階で階段室内の耐力壁などから上下方向に構造ひび割れ、1階耐力壁の一部に、裏面まで貫通した約3mmのせん断ひび割れ、2階柱に最大1.2mmのせん断ひび割れ及び主筋が剥き出しになっている柱を確認した。

外来棟3階S造部分は、主に桁行き方向に大きく変形、2階外通りの腰壁と柱の接する水平面に、数ミリ程度のひび割れが発生した。

このため被害建物内立ち入りを禁止し、本館・外来棟に残っていた薬局、臨床検査科、総務課、医事課、検診室などについても緊急に新病棟7階等に集約をした。これらの影響により、本来5病棟240床を予定したベット稼働が、3階から6階まで4病棟192床で運営することを余儀なくされた。

これら震災の影響はあったものの、平成22年度は各種改革・改善により医業収益の増加や費用の削減ができたことにより、本年度の損益収支は、これまでの赤字から大幅に収益が改善し黒字転換とすることができた。

今後も極めて厳しい経営状況にあるが、引き続き平成23年度が最終年度となる改革プランに基づき、自治体病院の使命である公共性と経済性の発揮を経営の理念として業務の遂行に努め、さらなる経営の健全化・効率化に努める所存である。

#### (ウ) 運営状況について

平成22年度の運営状況は、入院患者延数は、内科の患者数が前年度と比較して2,409人(7.9%)減少したものの、主に整形外科の患者数が5,017人(84.3%)、外科の患者数が1,004人(8.2%)増加したため、前年度62,279人と比較して3,594人(5.8%)増の65,873人となった。

外来患者延数は、整形外科、外科及び婦人科の患者数が前年度と比較して4,280人(25.9%)増加したものの、主に皮膚科の患者数が4,760人(90.2%)、内科の患者数が1,538人(5.6%)、小児科の患者数が1,115人(5.4%)減少したため、前年度86,981人に比較して4,032人(4.6%)減の82,949人となった。

また、損益収支(消費税及び地方消費税抜き)については、総収益は主に入院患者数の増加及び入院、外来診療単価の増加により、前年度3,763,591,313円に比較して301,263,977円(8.0%)増の4,064,855,290円となった。

一方総費用は、資産減耗費及び減価償却費が61,579,404円(28.5%)減少したものの、給与費が101,677,317円(4.6%)及び材料費と経費が67,011,490円(5.4%)増加したことにより、前年度3,876,241,645円に比較して108,667,375円(2.8%)増の3,984,909,020円となった。

この結果、収支差引額は、79,946,270円の純利益(前年度△112,650,332円)となり、これにより当年度未処理欠損金は1,386,295,843円となった。

#### (エ) 建設改良工事等の状況について

A 建設改良工事等の概要については、新病棟建設工事、情報ネットワークシステム工事、屋外整備工事、電波障害対策工事のほか工事監理業務委託及び医療機器整備計画策定支援業務を実施した。

B 医療器械の整備状況については、磁気共鳴診断撮影装置、無影灯手術室映像管理システム、中央材料室機器、X線TV装置、医療情報システム（電子カルテ等）、ほか24件について整備した。

#### イ 経営の概況について

##### (ア) 収益的収入及び支出（消費税及び地方消費税抜き）

- A 医業収支については、収益は主に入院及び外来収益が増加したため、3,867,848,103円（前年度対比308,845,145円、8.7%増）となり、これに対し費用は、資産減耗費及び減価償却費が減少したが給与費及び材料費が増加したため、3,761,878,324円（前年度対比108,374,515円、3.0%増）となり、この結果、医業収支差引は105,969,779円（前年度△94,500,851円）の利益となった。
- B 医業外収支については、収益は臨床研修費補助金及び構成市町村からの繰入金（利子負担分）が増加したが、構成市町村からの分賦金（高等看護学院費及び病院企業団費）が減少したため、197,007,187円（前年度対比7,581,168円、3.7%減）となり、これに対し費用は、支払利息及び高等看護学院費が減少したが、主に消費税に係る雑損失の増加や新たに繰延勘定償却3,129,000円（前年度対比 皆増）が増加したため、223,030,696円（前年度対比292,860円、0.1%増）となり、この結果、医業外収支差引は26,023,509円（前年度△18,149,481円減）の損失となった。

##### (イ) 資本的収入及び支出（消費税及び地方消費税込み）

資本的収支については、収入が6・7病棟等改築事業に係る企業債及び一般会計出資金が増加したため、3,274,516,862円（前年度対比1,826,643,080円、126.2%増）となり、これに対し支出は、6・7病棟等改築事業に係る事業費及び磁気共鳴診断撮影装置等の医療機器購入費が増加したため、3,423,328,194円（前年度対比1,891,978,265円、123.5%増）となり、この結果、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額148,811,332円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,721,767円及び過年度分損益勘定留保資金143,089,565円で補てんした。

##### (ウ) 消費税及び地方消費税について

期末一括税抜き経理の結果、課税売上割合が4.4%（非課税売上割合95.6%）となり、課税売上げを構成しない課税仕入れの対価に含まれる税額は控除できないため、控除できなかった仕入れ税額を医業外費用（雑損失）として54,572,677円及び繰延勘定（控除対象外消費税）として149,728,183円を計上した。

本年度の確定申告は、控除税額が消費税額を1,057,475円上回ったので、平成24年度に還付となるものである。

## ウ 主な経過報告事項

- 平成 22. 4. 8 附属高等看護学院第58回生入学式  
5. 29 第4回楽・楽けんこうウォーキング  
6. 3 公立岩瀬病院オープンシステム委員会総会  
6. 17 院内講演会「医療安全管理とクライシスコミュニケーション」  
6. 18 企業団理事者会  
6. 21 院内講演会「ICNナースとしての実施」  
7. 6 院内講演会「健康管理について」  
7. 22 全国自治体病院協議会福島県支部定期総会  
7. 30 住民公開講座婦人科セミナー  
8. 19 平成22年度全国自治体病院協議会東北地方会議  
9. 10 院内講演会「5Sについて」  
9. 17 新病棟上棟式  
9. 24 企業団理事者会  
9. 27 新病棟建設工事現場見学会  
9. 30 企業団議会議員全員協議会  
10. 1 院内講演会「パンデミックの総括とこれから」  
10. 10 第8回公立岩瀬病院フェスティバル  
10. 19 附属高等看護学院第58回生載灯式  
10. 29 第3回改革プラン評価委員会  
11. 7 第5回楽・楽けんこうウォーキング  
11. 16 市民公開講座「これから気をつけたい喘息とインフルエンザ」  
「高血圧治療 最近の話題」  
11. 18 健康教室「糖尿病食事相談」  
11. 22 永年勤続職員表彰式  
12. 9 院内講演会「医療安全管理とクライシスコミュニケーション」  
12. 24 企業団理事者会  
新病棟引渡式  
平成 23. 1. 27 健康教室「糖尿病栄養指導」  
1. 27 院内講演会「インフルエンザとリスクコミュニケーション」  
2. 2 市民公開講座「医療と介護の連携が推進する在宅での看取り」  
2. 10 健康教室「糖尿病薬効果」  
3. 2 附属高等看護学院第56回生卒業式  
3. 5 新病棟内覧会  
3. 11 大震災被害に伴い「災害対策本部」の設置  
3. 14 新病棟運用開始

(2) 企業団議会議決事項

平成22年6月定例会(22.6.29)

報告第2号 平成21年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計予算継続費の通次繰越しについて

議案第6号 公立岩瀬病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

平成22年9月定例会(22.9.30)

報告第3号 平成21年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計決算について

報告第4号 平成21年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計資金不足比率について

議案第7号 公立岩瀬病院企業団職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

議案第8号 平成22年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)

平成22年第1回臨時会(22.12.1)

議案第9号 公立岩瀬病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

平成22年12月定例会(22.12.27)

議案第10号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

議案第11号 公立岩瀬病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

平成22年3月定例会(23.3.29)

報告第1号 専決処分の報告について

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて

議案第2号 専決処分の承認を求めることについて

議案第3号 公立岩瀬病院企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

議案第4号 平成23年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計予算